

図1 場内試験における各試験区のルーメン内 pH 低下時間（平均値）

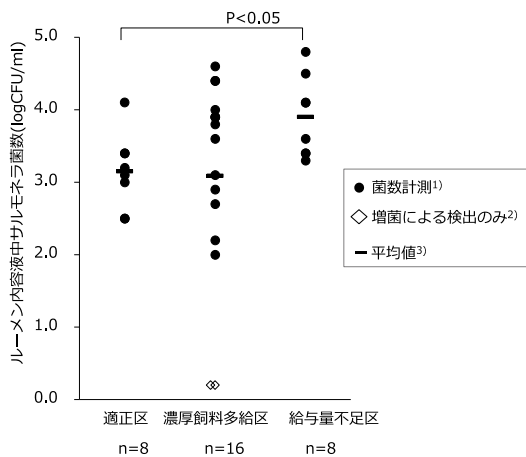


図2 経口接種後3時間のルーメン内容液中サルモネラ菌数

- 1) ノボビオシン加 DHL 寒天培地 (nDHL) に10倍階段希釈液を塗抹培養し、コロニー数計測。
- 2) 選択増菌（ラパポートバシリアディス培地）後の分離培養（nDHL）によるコロニー形成の有無で判断。塗抹培養結果は陰性。
- 3) 菌数計測の塗抹培養結果より算出。

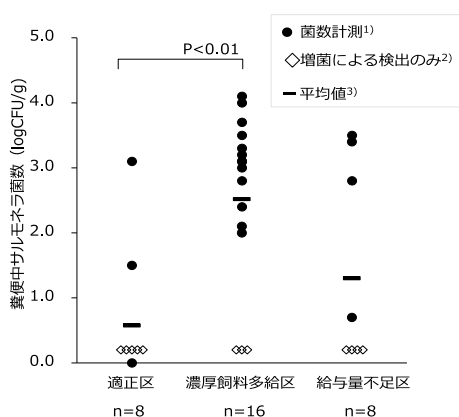


図4 経口接種後1日目の糞便中サルモネラ菌数

- 1), 2), 3) は図2と同様。

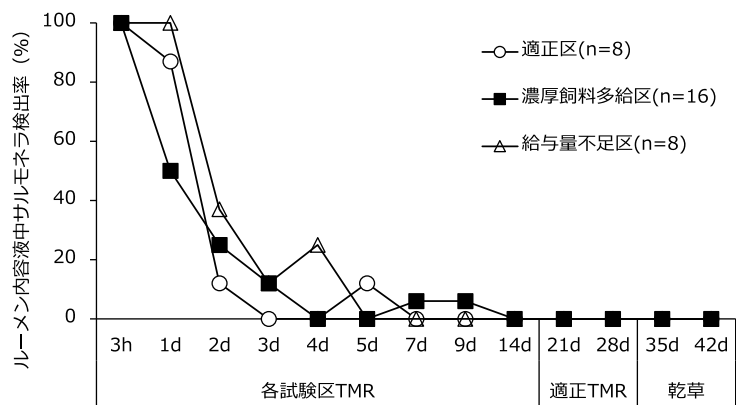


図3 経口接種後のルーメン内容液中サルモネラ検出率の推移

- * 適正区2, 5d 検出は同一個体、
濃厚飼料多給区7, 9d 検出は別個体

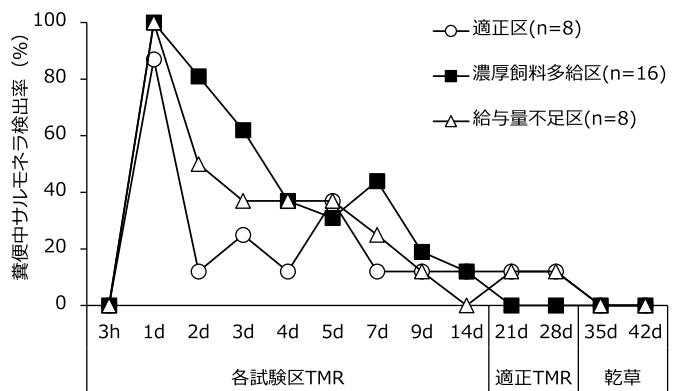


図5 経口接種後の糞便中サルモネラ検出率の推移

- * 適正区 2～28d 検出は同一個体、
給与量不足区21, 28d 検出も同一個体

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研畜産試験場 畜産研究部 家畜衛生グループ 櫻井由絵
電話 0156-64-0615 FAX 0156-64-5349
E-mail sakurai-yosie@hro.or.jp